

若 鮎



HPで活動の様子を
紹介しています。



19日(火)に、5・6年生による里神楽発表会を、今年度も開催できました。大勢の皆様からご観覧いただき、感謝申し上げます。

神楽のルーツは、天岩戸から天照大神を誘き出すために踊った天鈿女の舞と言われておりますが、天岩戸伝説も天鈿女の舞も、今回の演目に入っていました。このように神に捧げる舞と

して神事であった神楽は、その後の歴史の中で庶民の娯楽としての意味合いももつようになったそうです。さらに私は、その地域における社会教育・家庭教育の機能も果たしたのではないかと思います。

例えば今回の演目「戸隠天女」では、力でこじ開けようとしても微動だにしなかった岩戸ですが、出てきてほしいという祈りや願いが（実際の神話では知恵も）届いたときに初めて動きます。強引な力よりも、誠意が人や物事を動かすという教訓を、神楽を見た人々は、自然に学んだのではないのでしょうか。

17日間の冬休み！ ＝あらゆる場が家庭教育のチャンスです＝

さて、冬休みは、子どもたちが一日中、家庭や地域で過ごすこととなります。家族や親せき、地域の人に対する挨拶、言葉遣いを含めた礼儀・マナー、規則正しい時間の使い方、任された家事のやり方やコツ、正月や地域行事の来歴、親の仕事や将来の夢など、子どもの生活に即して家庭内で話題にする材料はたくさんあります。

また、外出時には、冬季特有の危険箇所や危険回避の仕方、各種施設や乗り物の利用の仕方、交通ルール、旅行先の地理や歴史など、その場その場で規範意識や自らの命を守るスキルを高めるための話題等を取り上げることが出来ます。

これらは全て家庭教育の重要な内容です。家庭教育として意識して行っていないかもしれませんが、いずれも普段から親として当然のこととして行っていることが多いと思います。

ありとあらゆる場が家庭教育のチャンスとなります。この冬休みは、将来の社会人として身に付けてほしいことを親の願いとして子に伝え、語り合ってみてはいかがでしょうか。



(校長 岩片和義)

部落問題学習、人権教育の学習参観を行いました。

11月が思いやり月間であることに合わせて、21日(火)の学習参観では、どの学級も「人権教育、同和教育」の授業公開を行いました。

1・2年生は、「決めつけはやめよう」という主題の学習でした。外見だけで判断するなど、一面的な見方をすることは決めつけであること、決めつけは差別につながることを理解し、「決めつけをしないようにしよう」という思いをもつことをねらいとしました。

3・4年生は、「相手の真実の姿を見つめよう」という主題の学習でした。人のうわさや言い伝えによって誤った判断をせず、自分自身で考え、真実に基づいて判断することの大切さに気付き、偏見に惑わされることなく友達とかかわり、仲良くしていこうとする態度を育てることをねらいとしました。

5・6年生は、「たくましく生きる」という主題の学習でした。

被差別部落の人々がかつて担っていた役割やくらし・文化の様子を知ることによって、たくましく誇りをもって生きていた姿から学ぶことをねらいとしました。

多くの保護者の皆様にご参観いただき、ご家庭でもこの問題について話し合っただきました。大変ありがとうございました。



小中合同いじめ見逃しゼロスクール集会に参加しました。

11月29日(水)に、潮陵中学校にて「小中合同いじめ見逃しゼロスクール集会」が行われ、5・6年生が参加しました。今回のテーマは「ネットいじめ」でした。小中学生が一緒にグループを作り、テーマに基づいて話し合いました。

仲よしグループのチャットから起こったいじめの事例をもとに、自分がチャットに参加している一人ならばどんなふう書き込んだらよいかを考えました。付箋に意見を書き、貼りながら話をするスタイルです。発言に困っている小学生には、中学生が優しくフォローしてくれました。

いじめには、加害者、観衆、傍観者、被害者の4者がいます。周囲の人が傍観者にならず、小さなアクションを起こすことでいじめの深刻化を防いだり、被害者を守ったりすることができることを学びました。



谷浜小さいじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。

12月4日(月)に、校内いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。

11月の生活目標「いじめをしない ゆるさない」を達成するために、月の初めに各学級のめあてを立て、この1か月間、学級活動での話合いや道徳の授業を通して、繰り返し「いじめや差別は許されないこと」を学習してきました。

まずは、その取組の様子と現在の学級の様子、これからに生かしたいことなどを、各学級の代表者が発表しました。

次に、ピカピカ班に分かれ、5・6年生の提案である「仲間はずしをしているところを見たらどんなことができるか？」をテーマに話し合いました。子どもたちからは、仲間はずしをされている人に温かい声掛けをする、仲間はずしをしている人に理由を聞いて話し合う、注意する、先生に相談するなどの意見が出されました。傍観者にならず、自分から行動することの大切さを確認することができました。



3・4年生 鮭の飼育活動が始まりました。

今年も、3・4年生が鮭の飼育活動を始めました。子どもたちは、新しい卵を迎えるために、みんなで協力して大きな水槽を洗い、ポンプを稼働させ、準備を進めてきました。そして、11月24日(金)には、卵をいただきに桑取川採抱場へ。漁業協同組合長の平井さんから鮭を取り巻く現状や育て方について教わりました。

その後は、当番が毎日卵の様子を観察するなど、大切に育てています。約1か月で卵も少しずつ成長してきました。孵化が楽しみです。

春には、稚魚を桑取川へ放流することになります。この活動を通して、ふるさとの動植物への愛着を深め、豊かな自然環境を大切に思う心をさらに育みたいのです。



教育広報紙「かけはし」56号が配信されました。

以下のアドレスからダウンロードいただくか、QRコードを読み取っていただくかの方法でご覧ください。

- ・「かけはし」56号データ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>



<冬季間のバスの運行について>

いよいよ本格的な冬が始まります。今年も、15分以上の運行の遅れが分かった段階で、各地区にお住いの代表の皆様へ情報提供をいたします。子どもたちが安全に登校できるよう、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

なお、市内の路線バスの運行状況が分かるサイトがあります。スマートフォンからも検索できますのでご活用ください。

○上越バスロケーションシステム

<https://www.joetsubusloca.jp/>

